

2025/11

図書館だより

SAKU さいふ

作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部 図書館

おかげさまで
120号

足は現場、頭は読書

作新学院大学女子短期大学部 幼児教育科 准教授 矢野善教

私は保育園や幼稚園、認定こども園、小・中学校、高等学校、児童福祉施設、障害児者支援施設など多様な現場との繋がりを通じて、「現場が最先端」という意識で、臨床の場を一番大切にしてきました。教室や保育室では、空気や雰囲気があっという間に変わり、昨日の正解が今日は通用しないこともあります。だからこそ、私は観察→仮説→試す→振り返る、という小さなサイクルをコツコツ回しています。うまくいかなかった日は、間違った仮説を一つ手放せた日だと考えます。

そして、本を読むことが実践を強くします。本は先人の経験をぎゅっと詰め込んだ地図です。経験に理論という言葉が乗ると、偶然の成功が再現できる技術に変わります。授業や実習では、①気づきを簡単にメモする、②週に一冊“原理がわかる本”を読む（一部でも OK！）、③翌週に一つだけ試す（チャレンジ！）、④仲間と振り返る、の4つを意識してください。例えば、子どもに対して「指示は3語」「選択肢は2つ」「うまくできたらすぐ言葉でほめる」といった具体案からで十分です。

足で現場を歩き、頭を読書で鍛え、手で記録し、口で対話する。この積み重ねが、皆さんの実践を確実なものに近づけます。迷ったときは原理に戻り、迷わなくても記録に戻ってください。皆さんの一步一步が、支援を受ける人の明日を少し明るくします。私も試行錯誤しながら学び続けます。できることから始めましょう。今日の授業やアルバイト、ボランティアの場でも試せます。まずは一つだけ行動を決め、帰り道のメモから始めてください。

❀ 第120号発行に際して ❀

図書館だより SAKU らいぶは、2008 年（平成 20 年）4 月に創刊し、このたび記念すべき第 120 号を発行いたしました。17 年間、一度も休むことなく発行を続けられたのは、読んでくださる皆さまのおかげです。心より感謝申し上げます。

振り返れば、本学図書館にもさまざまな出来事がありました。

中でも忘れがたいのは、2011 年の東日本大震災と、2020 年からのコロナ禍です。震災では、天井の崩落など大きな被害を受けましたが、春休み中だったこともあり利用者にけがはなく、幸いでした。建物だけでなく、私たちは心にも深い傷を負いましたが、復旧工事を経て、2012 年 3 月 30 日にリニューアルオープンを迎えることができました。

コロナ禍では、大学の臨時休講に伴い図書館も休館となり、先の見えない不安な日々が続きました。飛沫防止フィルムや除菌ボックスの設置、閲覧席の間隔調整、検温・消毒など、工夫を重ねながら再開した日は、今でも鮮明に思い出されます。

こうして歩んできた年月を振り返ると、「当たり前生活」がどれほど尊いものか、改めて感じます。

図書館で読書をする。調べ物をする。友人と語らう。そんな当たり前で心穏やかに過ごすことが、いつでもいつまでもできるようにと心から願います。

これからも図書館は、学生の皆さんの学びを支える場として、より良いサービスを提供してまいります。そして SAKU らいぶも、次なる節目「第 200 号」を目指して発行を続けていきます。どうぞご期待ください。



2011年3月 東日本大震災により図書館は甚大な被害を受けました。



コロナ禍以降、除菌BOXを使っています。本の表紙を除菌します。



仮図書館にも楽しい本がどんどん増えています。ぜひご利用ください。

開館カレンダー11月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23 30	24	25	26	27	28	29



9:00~18:00



休館日

LRT に乗って作大へ行ってみよう

清陵高校前(作新大・作新短大前)下車すぐ

作大図書館はどなたでもご利用いただけます

TEL: 028-670-3652

URL: <https://www.sakushin-u.ac.jp/library/>

